

障害者の職場を保障しろ！

上を向いて笑おう
太田DOKO?



■7500人分の障害者のための職場が奪われた
 中央省庁の障害者雇用水増し問題について、
 政府は10月22日、第三者の検証委員会の報告書を公表するとともに、中央省庁での障害者の雇用確保策や再発防止策を盛り込んだ基本方針をまとめた。昨年6月時点で28機関が3700人を不適切に計上し、全国の自治体でも、3809・5人分の水増しがあったことが明らかになった。松本市でも5人明らかになった。

つかけとしていかなければならない。
 ■原因が明らかになったとは言えない
 検証の結果、「ずさんな対応」、「極めて由々しき事態」と指摘されるように、死亡した職員も含まれていたり、退職者や視力の弱い人を多数算入したりしているなどのひどい実態が明らかになった。しかし、原因については、「決して弁明が許されるものではない」（松井巖・検証委員長）とする一方、「障害者の対象範囲や確認方法の恣意的解釈が不適切な計上の原因」とするにとどまり、意図的な水増しがあつたかどうかについては踏み込めなかった。各省庁も、意図的に不適切な対応をした例は把握していないとの認識で、厚生労働省の指導や説明の不足などへの責任転嫁もうかがえる。検証委員会の委員に障害当事者が入らなかつたことや、調査対象を各省庁の人事担当者に限る。再発防止を期すというのであれば、水増し問題を単なる「数合わせ」で幕引きにしてはならず、障害者の社会参加と共生社会作りのき

今日は何の日? 10月29日・・・「インターネット誕生日」1969年のこの日、インターネットの元型であるARPA ネットで初めての通信が行われた。カルフォルニア大学ロサンゼルス校からスタンフォード研究所に接続し、"LOGIN" と入力して"LO" まで送信した所でシステムがダウンした。

社民党

社会新報号外
 連絡先：松本市開智1-6-23
 社民党松本総支部
 TEL 0263-33-1700
 FAX 0263-33-1280

がなされたとはいえない。検証委員会に障害者や支援団体の関係者を加え、当事者の声に基づいて引き続き究明を進め、雇用政策の抜本的な見直しにつなげていくべきである。

■誰もが安心して働ける職場環境を

今後は、障害者を対象にした統一筆記試験を新設するほか、非常勤も含め省庁ごとに人員を募り、2019年中に4000人を採用し、法定雇用率を満たすとしている。しかし、障害者の雇用は、単に人数の問題ではない。「障害者雇用促進法」は、障害者の社会参加を促すために制定されたという経緯を重く受け止めなければならぬ。法定雇用率を満たす努力や雇用拡大は当然必要だが、雇用しても定着しなければ意味はないし、働く環境が不十分なままでは障害者に負担を押しつけることになりかねない。障害の特性に応じて、それぞれの力が発揮できるように、障害の程度に応じた業務の仕分けが必要であり、障害者雇用の拡大の点から、民間委託や事務作業の効率化、業務のアウトソーシングのあり方を見直す必要がある。

そもそも採用試験の受験資格に差別があってはならないし、受験時の合理的配慮の提供がなされなければならぬ。障害者の視点で職場のあり方を見直し、さまざまな環境整備を行い、障害者をはじめ誰もが安心して働くことができ、職場環境と労働条件の整備を進めていくことが求められる。

種子法廃止を考え、乗り越える集い

日時 10月29日(月)13:30

場所 松本市勤労者福祉センター大会議場

講演 印鑰智哉氏

主催 松本消費者の会 無料です

「種子法(主要農作物種子法)」といわれても、ピンとこない人が多いかもしれない。一般にはあまり知られていないが、戦後の日本で、コメや大豆、麦などの種子の安定供給を支えてきた法律だ。この法律が突如、廃止されることになった。昨年年2月に廃止法が閣議決定され、4月には可決、成立。今年4月1日に廃止された。なぜ廃止されたのか。私たちの食や農業は大丈夫なのか。

おしどりマコ・ケン トークライブ

日時 11月3日(土)14時

場所 松本市勤労者福祉センター大会議場

内容 原発事故取材報告とQ&A

参加費 前売り800円(当日1000円)

毎週行われる東京電力の記者会見に、かかさず参加し質問をしているお笑い芸人おしどりマコ・ケンさん。笑いの中かから見える真実とは！